

RFC2644 ルーターにおいて指図されるブロードキャストについてのデフォルトを変更する

参照資料	管理策	セキュアネットワーク基盤の運用			利用
		ルーターのセキュリティ機能	ルーターの製造・出荷に係る運用ルール	その他	
	「ルーターは、指図されるブロードキャストを受信し転送しなければならない」				
	「ルーターが、この機能を使えなくするオプションを持たなければならない(MUST)、このオプションは、指図されるブロードキャストの受信と転送を許すのがデフォルトでなければならない(MUST)こと」				
	ルーターに要求されるデフォルトを変更することは、インターネットに接続される新しいルーターが現状の問題に加わることがないことを確保するのに有益でしょう。				
	継続的なイングレスフィルタの実装が、これらの攻撃を制限する最善のやり方である				
	ネットワークサービスプロバイダーと企業ネットワークオペレーターには、彼らのネットワークが、そのネットワークの外部を起点として指図されるブロードキャストパケットに対して影響を受けないことを確認することが強く薦められます。				
	指図されたブロードキャスト(特定のネットワークプリフィックスに指図されたブロードキャスト)は、ソースアドレスとして使用されてはならない(MUST NOT)。				
	ルーターは、ネットワーク越しに指図するブロードキャストパケットの起点となってもよい(MAY)。				
	ルーターは、指図されるブロードキャストパケットを受け取ることを許容する設定オプションをもってもよい(MAY)が、このオプションは、デフォルトでは使えないようにしなければならない(MUST)。				
	(MUST)。それゆえルーターは、エンドユーザによって特別に設定されたのでない限り、ネットワーク越しに指図されるブロードキャストパケットを受け取ってはならない(MUST NOT)。				
	ルーターは、ひとつのインターフェイス上でネットワークプリフィックスに指図されたブロードキャストを受信することを可能にするオプションを持つことができ(MAY)、ネットワークプリフィックスに指図されたブロードキャストを転送することを可能にするオプションをもつことができる(MAY)。				
	これらのオプションは、ネットワークプリフィックスに指図されたブロードキャストの受信をブロックすることと転送をブロックすることをデフォルトとしなければならない(MUST)。				
	特定の種類のサービス妨害攻撃の有効性を低減すること				